

研修名	依存症関連問題専門研修 「CRAFTの基礎と行為の依存への対応」
講師	あいざと会 藍里病院 副院長 精神科医 吉田 精次 氏
開催日時	平成31年3月1日(金) 13:30~17:00
開催場所	北九州市総合保健福祉センター(アシスト21) 2階講堂
参加者数	94名 (内訳:看護師、保健師、臨床心理士、養護教諭、精神保健福祉士、指導員、支援員、相談員など)
研修の内容等	<p>依存症関連問題に関わる支援者に、依存症に関する知識や支援手法に関する研修機会を提供することによって、支援者の意識やモチベーションの向上を図り、依存症に関して相談しやすい地域づくりを目指すことを目的として行った。</p> <p>講義形式ではあるものの、時折参加者と講師で対話も行いつつ講演が行われた。また、後半には地域の依存症回復施設の職員から施設紹介が行われた。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CRAFTとは「相手を変えよう」とムキならない、自分も相手もとても人間らしくなることのできる関わりをしているものなのだと感じました。</li> <li>• CRAFTの考え方や技術は、家族支援以外の日頃の臨床にも活かせるものだと感じました。もっと深くしっかりと学んでいきたいです。</li> <li>• 当事者の方との日々の関わりの中で、役に立つお話や技術が多くあり、とても参考になりました。</li> <li>• CRAFTの基礎、声掛けの大切さがわかりました。具体的な事例もイメージしやすく、理解がより深まりました。</li> <li>• 先生の温かみのある講義に肩の力が抜けました「自分もCRAFTの恩恵を受けている」という先生の言葉がとても深いと思いました。</li> <li>• ゲーム障害に対する研究が進んでいることに驚きました。特に、思春期の脳のメカニズムのお話が印象に残りました。</li> <li>• 家族支援の必要性を改めて感じました。支援を行う上で、どうしても当事者の支援に目を向けがちになってしまうので、家族支援も考えていこうと思います。</li> </ul>